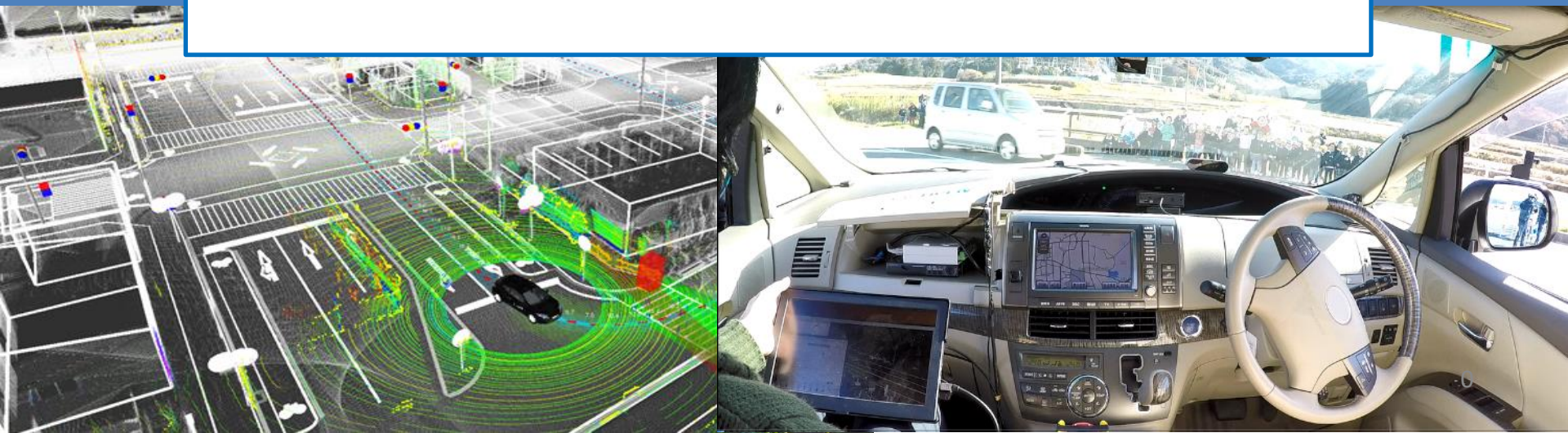


愛知県の自動運転に係る取組について





地域諸課題の解決

- ・高齢者等の移動支援
- ・交通不便地における移動手段の確保
- ・交通事故の減少



次世代産業の振興

- ・自動車産業の振興

愛知県の自動運転に係る取組

- 社会実装を想定した運行を押し進め、交通事業者が実運行において再現可能かつ持続可能なビジネスモデルの構築を目指す

→ 県事業としての自動運転実証実験の実施

- 県内各所における民間事業者等による実証実験の実施を促進

→ あいち自動運転推進コンソーシアムの運営

- 公道での自動運転の実証実験に必要な調整・手続きを補助

→ あいち自動運転ワンストップセンターの運営

□ 目的

- (1) 企業・大学等と市町村との**マッチング**
- (2) **社会的受容性**の醸成
- (3) **新たな事業、ビジネスモデル**を創出

社会実装
の実現

□ 事業内容

自動運転の
実証実験
支援

産学行政の
マッチング

ワンストップ
窓口
(国や自治体
との調整)

先進事例の
情報共有

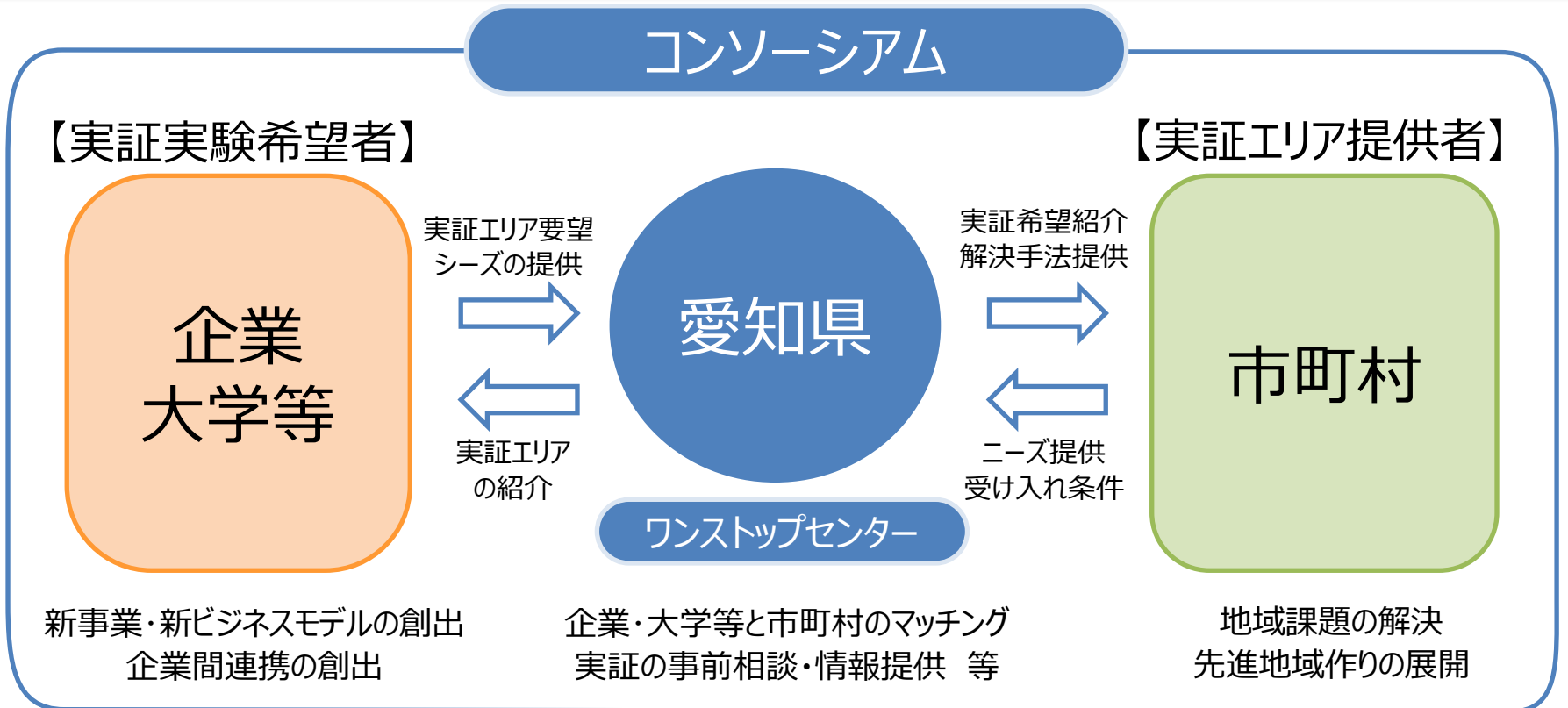
新事業・ビジネスモデ
ル創出に向けた
調査・研究

□ 会員 (2022年8月末現在)

会 員: **123**機関 (自治体:36機関 企業:79機関 大学:4機関 関係団体:4機関)

学識者: 5名

あいち自動運転推進コンソーシアムの枠組み



新たなビジネスモデルの展開を目指したWG

自動運転および電動化
部材・システムWG

自動運転
インフラ・データWG

自動運転
モビリティサービスWG

- ・最新情報や課題等の共有
- ・県内企業の新ビジネスに対応できる体制づくり、裾野拡大

あいち自動運転ワンストップセンター

取組内容

調整段階

電話・窓口
相談受付

実施者・市町村
マッチング

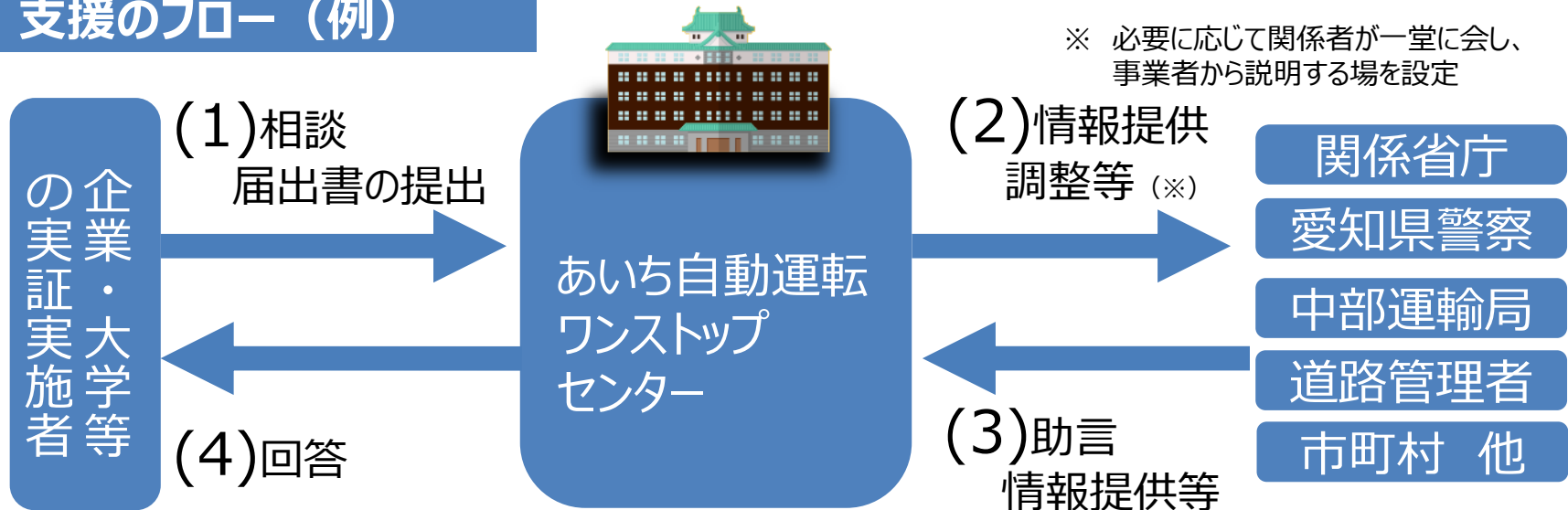
関係機関
調整・手続

実施段階

国等関係者
事前連絡

関係地域
周知・助言

支援のフロー（例）



あいち自動運転ワンストップセンターでの支援実績

□ 支援実績

- 約60の事業者から約370件の相談実績有（2017年9月～2022年3月）
- 主な支援実績については以下のとおり

実施主体	(株)ティアフォー	新明工業(株)	三井不動産(株)	名古屋大学
実施時期	2019.10～	2020.9	2021.3～	2021.6～8
実施場所	愛・地球博記念公園内 【閉鎖空間】	豊田四郷駅周辺 (区画整理事業区域内) 【閉鎖空間】	ららぽーと愛知東郷 ～徳重駅【公道】	春日井市高蔵寺周辺 【公道】
使用車両	マイリー・カート 	トヨエース 	ポンチョ 	カート型車両と 小型バス型車両 
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転モビリティによるサービス実用化に向けた走行試験 ・知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期 	<ul style="list-style-type: none"> ・工場内における資材移動に自動運転技術の活用を想定し開発した自動運転トラックの走行実証を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型ショッピングモールと地下鉄駅間での小型バス車両による実装 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド型の自動運転車および定時定路線型の小型バス車両による移動サービスの導入実証実験を実施

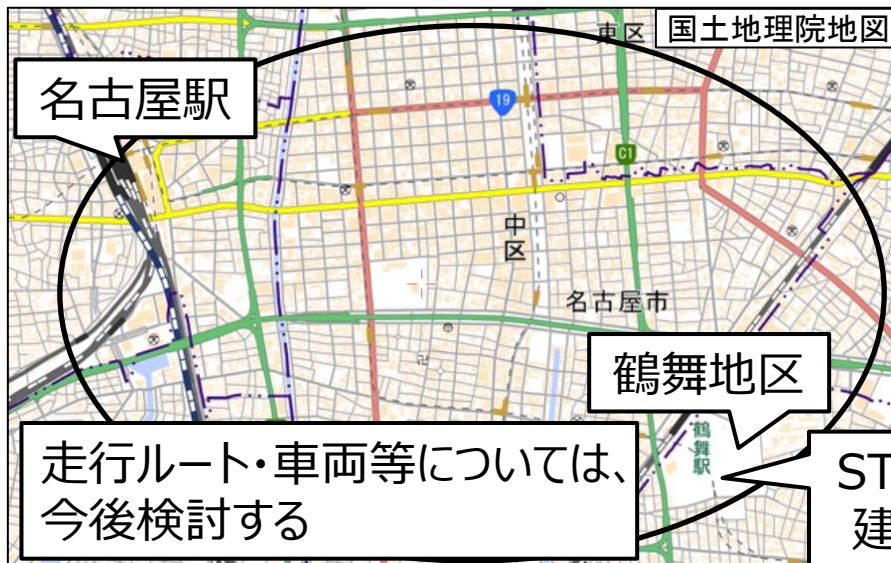
□ 目標

安心・安全な愛知らしい自動運転社会の実現

➡ 2022年度も、社会実装を見据えた、より先進的な**実証実験**に挑戦する

- ・歩行者等の**安全確保策**の向上
- ・悪天候における更なる**走行性能**の向上
- ・**社会的受容性**の向上
- ・交通事業者や地域の集客施設などをはじめ**幅広いプレイヤーの連携**

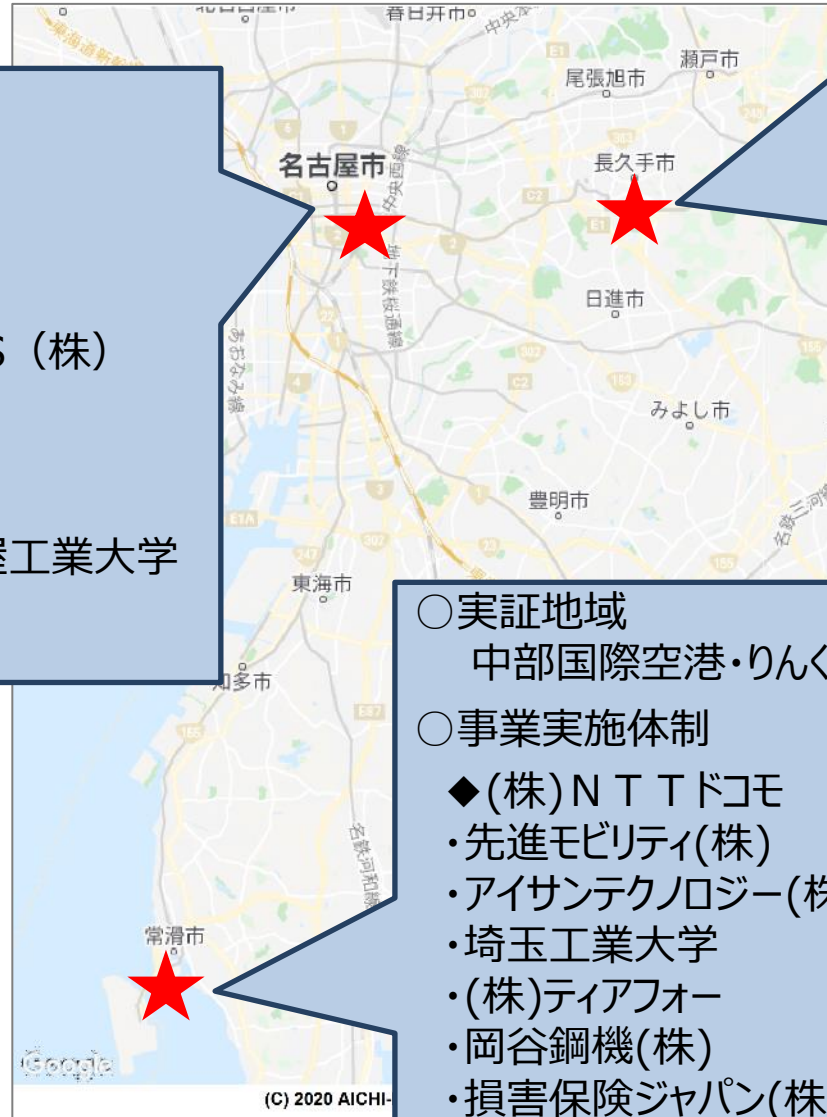
➡ 2024年のSTATION Ai※の開業に向けて、**名古屋駅と鶴舞との間**を結ぶ自動運転サービスの実現を目指す



※STATION Ai
愛知県が名古屋市昭和区に建設予定のスタートアップの創出・育成・展開を図るための中核支援施設

自動運転実証実験の実施 2022年度の実証地域

これまでの取組を更に推し進め、交通事業者等が実運行において再現可能かつ持続可能なビジネスモデルの構築を目指し3地域で実証実験を実施



○実証地域

名駅南～栄南地区

○事業実施体制

- ◆ WILLER (株)
- ・WILLER EXPRESS (株)
- ・名鉄バス (株)
- ・ST Engineering
- ・BOLDLY (株)
- ・国立大学法人名古屋工業大学
- ・STATION Ai (株)
- ・AGC (株)

○実証地域

愛・地球博記念公園

○事業実施体制

- ◆ (株) NTTドコモ
- ・アイサンテクノロジー (株)
- ・埼玉工業大学
- ・(株) ティアフォー
- ・岡谷鋼機 (株)
- ・損害保険ジャパン (株)
- ・名鉄バス (株)
- ・(株) 東海理化

○実証地域

中部国際空港・りんくう町・常滑市街

○事業実施体制

- ◆ (株) NTTドコモ
- ・先進モビリティ(株)
- ・アイサンテクノロジー(株)
- ・埼玉工業大学
- ・(株)ティアフォー
- ・岡谷鋼機(株)
- ・損害保険ジャパン(株)
- ・名鉄バス(株)
- ・愛知道路コンセッション(株)
- ・シーキューブ(株)
- ・愛知製鋼(株)
- ・イオンモール常滑
- ・(株)東海理化

◆ : 幹事会社

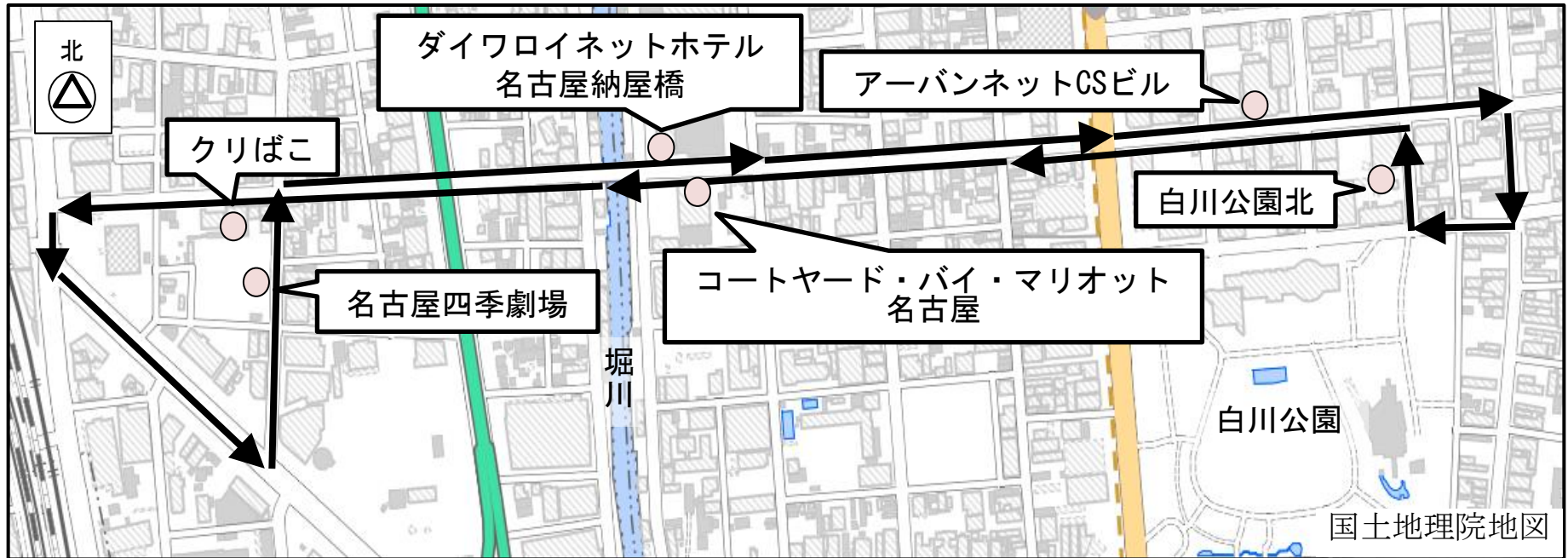
自動運転実証実験の実施 2022年度の概要

2022年度は社会実装に向けた取組を更に深化させ、**交通事業者等が実運行で再現可能なビジネスモデルの構築を目指し**、3地域で実証実験を実施

	常滑市	長久手市	名古屋市
実証地域	中部国際空港・りんくう町・常滑市街	愛・地球博記念公園	名駅南～栄南地区
道路種別	公道	閉鎖空間	公道
実施ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール常滑～中部国際空港(公道:中部国際空港連絡道路含む) ・イオンモール常滑～りんくう町内～常滑駅(公道) 	<ul style="list-style-type: none"> ・西エントランス広場・児童総合センター付近(園内バスルートの一部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・名駅南～栄南地区を東西に結ぶ三蔵通を中心とした経路(公道)
実証テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・磁気マーカシステム・ビッグデータを活用した安心・安全で利便性の高い運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内バスルートでの自動運転バスによる運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーション創出に向けた自動運転車の活用
使用車両	小型バス車両、大型バス車両	大型バス車両	自動運転用電気自動車
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・磁気マーカシステムを活用した中部国際空港連絡道路での走行 ・ビッグデータ等を活用した移動需要に合わせた最適な配車 ・5GやAI映像解析技術等を活用した危険箇所リスクの検出 	<ul style="list-style-type: none"> ・センサー等を活用したルート上の歩行者検知及び歩行者に対する音声による車両接近情報の提供 ・樹木・起伏等があるルートでの自動運転バスによる走行 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリを用いた事前予約によるオンデマンド運行 ・移動時間に付加価値を与える車室空間の検証 (特殊フィルムにより窓ガラスをディスプレイ化した動く会議室) ・将来的に、名古屋駅とSTATION Ai(鶴舞)を自動運転車で結ぶモビリティサービスへつなげる。

都心モデル：名駅南～栄南地区での自動運転実証実験

テーマ：イノベーション創出に向けた自動運転車の活用



アルマ[自動運転用電気自動車]

- ・若宮大通等の都心の幹線道路を含むルートにおいて運行
- ・2か月半の長期間にわたり、イオンタウン千種やJR鶴舞駅といった多くの方が利用する施設間において運行。
- ・1か月間は一般住民の試乗も実施